

(一社) 日本観光研究学会 シンポジウム

「コロナ禍をふりかえり、観光地域づくりの未来を展望する」

1. 日時

2023年6月24日(土) 16:15~18:15

2. 場所

立教大学池袋キャンパス 5号館 1階 5122教室

3. 開催趣旨

昨年10月11日、外国人の個人旅行の受入が再開され、2年半に及ぶ制限が緩和されて半年が過ぎた。また、5月8日からは新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが5類に引き下げられ、コロナ前と同様に行動制限のない旅行が可能となり、国内観光地では観光客が戻りつつある。

今回のコロナ禍では、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が発出されるたびに移動が制限され、感染拡大が落ち着いた時にはGO TOトラベルや旅行支援制度によって、観光関連産業をはじめ疲弊した地域事業者への支援が手厚く行われた。また、2023年度からは、6年ぶりに改定された「第4次観光立国推進基本計画」(対象年度2023~25年度)がスタートした。

翻弄された3年を踏まえ、地域における観光振興の考え方にどのような変化があったのか、また、地域は再開に向けてどのような準備をし、コロナ前からの課題やコロナ禍で生じた課題の解決に立ち向かったのか。この間の観光施策がもたらした地域への効果や問題点を振り返りながら、観光地域づくりの未来を展望する。

4. プログラム

16:15~16:30	モデレーターによる企画・趣旨説明
16:30~17:30	話題提供(パネリスト3名)
17:30~18:15	パネルディスカッション

5. 登壇予定者

【パネリスト】(五十音順)

赤星 周平氏((公社)京都市観光協会(DMO KYOTO)事務局次長)

丸山 俊郎氏(白馬村村長)

矢ヶ崎 紀子氏(東京女子大学現代教養学部教授)

【モデレーター】

梅川 智也(本学会理事/國學院大學観光まちづくり学部教授)

【池袋キャンパス案内図】

JR各線、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ各線「池袋駅」下車 西口より徒歩約7分

